

令和5年度評価結果 一覧

京都市産業技術研究所 第3期中期計画

資料1

大項目	小項目	指標	中期計画 目標値 (4年間)	年度計画 目標 (単年度)	年度計画 実績(単年度)			
					R5			
					実績値	達成率(%)	自己評価 (産技研)	京都市評価 (案)
第1	住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置						4	4
	1 6本柱を連携させた総合的な技術支援の充実							
	(1)技術相談	【指標1】新規利用者数 (単位:件)	2,800	700	710	101%	A	A
		【指標2】無料の技術相談件数 (単位:件)	－	－	11,236	－		
	(2)試験・分析、設備機器の整備及び利用	【指標3】有料の技術相談＋試験・分析＋設備利用の件数 (単位:件)	56,000	14,000	15,065	108%	A	A
		【指標4】依頼試験のうち、オーダーメイド試験の割合 (単位:%)	－	－	2.2	－		
	(3)ものづくりの担い手育成	【指標5】研修＋セミナー等＋派遣指導の修了・受講者数 (単位:人)	800	200	390	195%	A	S
	(4)研究開発の推進	【指標6】共同研究の件数 (単位:件)	140	35	32	91%	B	B
		【指標7】産業技術研究所が承継した職務発明等の件数 (単位:件)	－	－	3	－		
		【指標8】学会等での発表＋研究論文や専門誌の執筆＋講演会等での発表や展示等の件数 (単位:件)	－	－	147	－		
	(5)知恵産業の推進	【指標9】技術支援による成果事例の件数 (単位:件)	140	35	40	114%	A	A
	(6)研究会活動	【指標10】新規会員獲得数 (単位:件)	70	17.5	20	114%	A	A
	2 情報発信とニーズ把握の徹底	【指標11】新聞やテレビ等のメディアへの露出件数 (単位:件)	140	35	60	171%	A	S
		【指標12】産業技術研究所公式Facebookへの投稿件数 (単位:件)	－	－	263	－		
	3 連携の充実・強化	【指標13】産業支援機関との連携件数 (単位:件)	200	50	57	114%	A	A
	第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置						4
1 組織体制の強化				－	－	A	A	
2 業務改革の推進				－	－	A	A	
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置						4	4
	1 財政運営の効率化				－	－	A	A
	2 多様な財源の確保	【指標14】自己収入の額 (単位:億円)	12	3	2.96	99%	B	B
	3 サービス向上等に向けた剰余金の有効活用				－	－	A	A
第4	その他業務運営に関する重要事項の目標を達成するためにとるべき措置						4	4
	1 法令順守と情報管理				－	－	A	A
	4 施設維持と安全管理				－	－	A	A